

令和5年度 商業振興補助事業審査委員会（第4回）議事録

- 1 日 時 令和5年7月18日(火)14時00分～16時00分
- 2 場 所 横須賀市役所2号館6階261会議室
- 3 出席委員 大場 保男（中小企業診断士）  
為崎 緑（中小企業診断士）  
渡利 恭明（中小企業診断士）  
安食 静二（INPIT神奈川県知財総合支援窓口）  
佐藤 廣（横須賀商工会議所産業・地域活性課長）  
熊澤 彰（横須賀市文化スポーツ観光部商業振興課長）
- 4 事務局 文化スポーツ観光部商業振興課 三本木主査、水野、櫻井
- 5 傍聴者 0名
- 6 議事内容：商店街にぎわいづくり事業補助金の審査について
  - (1)審査スケジュールについて  
(事務局)  
本日は、集客力向上モデル事業1団体と、にぎわいづくりイベント事業5団体の合計6団体の審査を予定している。（※資料2参照）
  - (2)審査方法について（※資料3参照）  
(事務局)  
**【集客力向上モデル事業】**  
集客力向上モデル事業は、将来にわたって商店街の競争力・集客力強化を図る、新規性・独創性のある事業である。別添採点表に基づき4項目×各5点＝20点満点で評価を行い、審査委員の合計点数が70%を超えるものを採択する。  
**【にぎわいづくりイベント事業】**  
にぎわいづくりイベント事業は採点を行わず、より良い事業を実施するための意見や助言等をいただきたい。
  - (3)集客力向上モデル事業（※資料4参照）
    - ・若松新生商業組合 ※冒頭事業のご説明  
(若松新生商業組合)  
若松マーケットは昭和レトロな雰囲気があり、提灯を常時さげている。  
昔はスナックのようなお店が多かったが、  
最近では代替わりして若い飲食店が増えている。  
組合役員も代替わりがあり、  
平均年齢70歳から50歳に若返り意見が活発になった。  
そんな中で出ている意見として、

装飾（提灯）が老朽化して漏電の危険があるので入れ替えたい。  
また、変わりつつある若松マーケットを周知するために  
商連かながわの商店街紹介ムービーを完成させ、9月広報予定。  
イベントとしては、商店街プレミアム商品券の実施、  
10月は開国花火大会前に昼市、11月はぶらじゃーまつりを予定。  
12月はイベントなしでもお客様が集まる。そんな場所が若松マーケット。

（委員）

10月の開国花火大会前の昼市は何をするのか。

（若松新生商業組合）

ストリートに机と椅子を出し、外飲みできるようにする。

（委員）

アルコール飲料のみ提供するのか。

（若松新生商業組合）

花火大会前の子ども連れ家族がいる想定で、  
駐車場を貸し切り、生ビールの提供、フラダンス等のステージ、  
キッズエリアもつくりたいと思っている。

（委員）

無料の試飲もするということだが、飲んで早々に帰ってしまわないか。

（若松新生商業組合）

認知度を上げることが目的のため、それでもよいと思っている。  
若松マーケットに入りづらいという現状を解消したい。

（委員）

横須賀ブラジャーについて、各店舗で味が異なると聞いている。  
飲み比べセットを提供すると面白いのではないか。

（若松新生商業組合）

味は異なると思う。前向きに検討したい。

（委員）

食べ物ともセットにできると思うので、検討ください。  
お酒を飲めなくても食事を楽しめるお店は増えているのか。

（若松新生商業組合）

増えている。10店舗以上ある。

（委員）

その情報をもっとPRするといいと思う。

（若松新生商業組合）

商連かながわのムービーで、PRを予定している。  
今後は特に安心安全をかかげて誰でも入りやすい  
若松マーケットのイメージをつくりたい。

（委員）

花火大会当日にイベント実施する際には警察にも相談してほしい。  
もし警察からイベントをやめてほしいと言われても、

別日に実施してもらえると嬉しい。

(若松新生商業組合)

警察に相談したうえで警備には気を付ける。

(委員)

未成年の飲酒には気を付けてください。

(若松新生商業組合)

試飲の時も年齢確認を実施する。

#### (4)にぎわいづくりイベント事業 (※資料5 参照)

##### (ア) 久里浜仲通り商店街振興組合

(委員)

戸板市セールについて、記念戸板市セールは通常と何が異なるか。

(久里浜仲通り商店街振興組合)

年末のプレミアム商品券やガラポン抽選会と合わせて A3 判の記念広告を掲出したい。お客様に対するプレゼント企画もやろうとしている。

(委員)

広告を大きくする分、裏面に各店の広告を増やすのか。

(久里浜仲通り商店街振興組合)

そのつもり。全面カラーも検討している。

戸板市セール実施日をカレンダーに載せることも想定。

(委員)

商店街に行こうと思えるような DM にする工夫はしているか。

(久里浜仲通り商店街振興組合)

していない。継続していることが全てで、

新しい取り組みは若手に任せている。

年配者はこれまで通りの活動を守りたい。

それでも変わったこともやっていきたいという志はある。

(委員)

DM の事業費について、高額に感じた。

他の経費にまわすことも検討してよいと思う。

チラシの折り込みは一般紙か。

(久里浜仲通り商店街振興組合)

商店街を利用している年齢層を踏まえると、新聞折り込みでよいと思う。

(委員)

ポスティングを利用する手もあるのでご検討ください。

(久里浜仲通り商店街振興組合)

最後に一言。久里浜の町はマリノスや病院建設により、街が少しずつ良い方向に変わっている。

その中でもプレミアム商品券が最も効果的な集客になるので、そこには注力していきたいと思う。

(イ) 上町商盛会商店街振興組合 (※資料5 参照)

(委員)

秋の収穫祭について、良い景品とはどんなものか。

(上町商盛会商店街振興組合)

具体的には決まっていないが、地元の農産品を使いたいと思っている。  
過去には津久井のみかんを使ったことがある。

(委員)

組合員のお店の商品を景品にはできないか。

(上町商盛会商店街振興組合)

これまではあまり使っていなかった。

(委員)

例えば、飲食店なら食券や割引券、  
お菓子屋ではお菓子の引換券等を景品にしてはどうか。  
せっかく商店街の中にお店がたくさんあるので、活用してください。

(委員)

お店の入れ替わりの状況はどうか。

(上町商盛会商店街振興組合)

何件か新しいお店がある。  
昔から八百屋はあるが肉/魚屋がないので集客には弱い。  
また、建物が古いので直さないと飲食店は難しいかもしれない

(委員)

アンガージュマンとは何か。

(上町商盛会商店街振興組合)

引きこもり等を受け入れて、社会復帰を支援している。

(委員)

その方々はこういった形でイベントに協力してもらっているのか。

(上町商盛会商店街振興組合)

各店の人手不測の支援を依頼している。  
以前は蛍光灯の取り換え等を多くやってもらっていたが、  
LEDに代わってなくなっている。  
なるべく仕事をお願いして、報酬を与えている。

(委員)

イベントではそういった社会貢献性も前面に出していくと良い。

(ウ) ドブ板通り商店街振興組合 (※資料5 参照)

(委員)

ドブ板はプロレスの聖地であり、ジャズのある街にもなっているが、  
この二つは異なっているように感じ、ドブ板はどこを目指すのか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

プロレスについては、プロレス協会とコラボして、プロレスラーにスカジャンの親善大使をしてもらい、横須賀を絡めてPRできている。

(委員)

プロレスをすれば集客力は上がるが、集まるのはプロレス好きであり、その人達はドブ板を好きになってもらえるのか。どう取り込むのか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

プロレスの中でスカジャンのPRをしてもらう。

(委員)

試合が終わった後に各店に流れる仕掛けはしているか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

各店回ってほしいというPRもプロレスラーにしてもらう。

(委員)

その時にドブ板のガイドブックやマップの案内をすると歩きやすいと思う。

(ドブ板通り商店街振興組合)

検討する。

(委員)

ジャズの頻度は年どのくらいを予定しているか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

理想は月1回だが、実際は四半期に1回くらいになる。

コースカとも共同開催に向けて動いている。

(委員)

四半期毎に季節性を曲目や装飾で出せると面白いと思う。

(ドブ板通り商店街振興組合)

協賛社とも相談したいと思う。

(委員)

商店街でのジャズバンド結成は難しいか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

家族経営が多く、やれる人がいない。

(委員)

メディアにジャズの側面で取り上げられることはあるか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

横須賀ジャズ協会が発信してくれる。

(委員)

商店街ジャズバンドは難しくても、地域住民の参加を促すと、マスコミに取りあげてもらいやすい。

これをきっかけに地域の人がジャズをするようになったというストーリーが話題になる。

(ドブ板通り商店街振興組合)

検討する。

(委員)

イベントにおいて、ミリタリー色を強めてみてはどうか。

例えば、米軍参加など。

(ドブ板通り商店街振興組合)

検討する。

(委員)

スカジャンの売れ行きは好調か。

(ドブ板通り商店街振興組合)

好調といえば好調。昨年大量に在庫したものが捌けていないのはある。

(委員)

新しいデザインが出ないと停滞してしまうので、  
在庫をなくすようにEC等も活用しながらPRが必要。

コロナ後の来街者層はかわっているか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

変わっていないが70%くらいに減っている。

夜の飲食がコロナ前には戻らない。

(委員)

高齢者が特に昼にシフトしている傾向がある。

(ドブ板通り商店街振興組合)

一時期は昼営業もあったが、現在はできていない。

(委員)

イベントは米軍基地内に案内できているか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

市が協力してくれればしたいと思っている。

日本のクオリティの高いスカジャンをお土産にしてほしい。

(エ) ヨコスカダウンタウンクラブ (※資料5参照)

(委員)

ヨコスカダウンタウンクラブとはどういう団体か。

(ヨコスカダウンタウンクラブ)

横須賀中央の若手有志によるイベント団体で約10年継続。

(委員)

実施予定の事業のうち2つが子ども向けとなっており、  
今後子育て世代をターゲットにするのか。

(ヨコスカダウンタウンクラブ)

以前より一貫して、子育て世代をターゲットにしており、  
子どもを呼ぶことにより、親世代の買い物を促したい。

(委員)

イベント時以外の、平常時は子育て世代の利用できる店は多いか。

(ヨコスカダウンタウンクラブ)

少ないかもしれない。飲食店が多い。

(委員)

イベントで子育て世代を集客できても

平常時の集客に連携できていないと効果が薄れてしまう。

(ヨコスカダウンタウンクラブ)

イベント時の賞品は目録にして、

その店で引き換えてもらえるようにはしている。

(委員)

日常から、子育て世代向けの販促を各店でやるとよい。

チラシやポスター等で、子連れOKの情報を記載してみてください。

また、実際に店舗に足を運ばれた際に

子ども用の椅子が店頭にあるだけで入店のハードルはかなり下がる。

(ヨコスカダウンタウンクラブ)

参考にする。

(委員)

街市について、何店舗くらい出展されるか。

(ヨコスカダウンタウンクラブ)

約10店。大型イベントと同時開催するため、

他のイベントスペースもあり制限がある。

理想は20~30店舗で単独開催すること。

(委員)

街全体でにぎわいをつくって周遊をしてもらおう構想なのであれば、

周遊させるための工夫が必要と感じる。

(ヨコスカダウンタウンクラブ)

検討する。継続して商店街の各店にアプローチしているが、

人員不足により難しい部分はある。

(委員)

ハロウィンイベントについて、

他地域でも実施している中で行おうとした経緯は何か。

(ヨコスカダウンタウンクラブ)

ハロウィンは来街者目線からすると、

市内でも複数イベントが重なっても面白いと思っている。

(委員)

せっかく若手の団体なので、隙間を狙った、

他と違った企画ができるとより良いと思う。

(オ) 横須賀商店街連合会 (※資料5参照)

(委員)

お店応援対象について、表彰されたお店の紹介はしたのか。

(横須賀商店街連合会)

商店街連合会の Web ページで公開した。  
権威ある賞にしていきたい。  
応募数が増えていくと、地区ごとの開催や、  
地区ごとのチャンピオンを集めた大会の開催等で、  
取り組みを広げられると考えている。

(委員)

商店街団体への加入は関係なく、  
お客様から選ばれたお店だけの MAP を作ってみても面白い。  
投票権は一定金額の買い物をした人に与えられるのか。

(横須賀商店街連合会)

これまで購入した金額(2,000円毎)に応じて  
投票権を得られるようにしていた。  
今後は応募単価を下げる検討をしている。

(委員)

投票権を与えられた店舗以外に投票できるのか。

(横須賀商店街連合会)

できる。

(委員)

受賞できなかったお店に対しても、  
ポジティブな意見を掲載する予定はあるか。

(横須賀商店街連合会)

ある。各商店街と整合は必要。

(委員)

食べログのようなお店の情報を見ることができる  
ポータルサイトに成長させていくと、  
お店側は賞をとれなくても意味のある取り組みになると思う。

(横須賀商店街連合会)

投票数や知名度を上げて、  
回数を重ねながらこの賞を育てていきたいと思う。

(委員)

推薦理由にヒントがあると思っている。  
昨年度やってみてこういう店が推薦されるというのはあるか。

(横須賀商店街連合会)

安い旨い等、色々あったが、  
お客様がファンになっていることが重要な印象。

(委員)

投票だけで終わってしまうと  
投票されなかったところが興味をなくしたり僻んでしまったりするので、  
こういうフィードバックを客観的な目線で全体に出せると良いと思う。

(横須賀商店街連合会)

ハロウィンイベントの中で筆ロックも入れたいと思っている。  
実際に久里浜のペリー祭の中で行った企画であり、  
お題に対してお絵描きをしてトーナメント形式で勝ち抜いていくもの。  
街のにぎわいを取り戻すための新しいコンテンツとして展開中。  
めざましテレビで取材されて、小泉進次郎さんも参加した。

(委員)

参加者はプロなのか。

(横須賀商店街連合会)

プロアマ問わずで、高校生や専門生も参加している。

(委員)

開催する各地に密着したテーマで実施できるか。

(横須賀商店街連合会)

できる。地域の特色やお店の名前等もテーマにできる。  
音楽も流れているので、イベント性が高い。

(委員)

飛び入り参加はできるか。

(横須賀商店街連合会)

できない。

(委員)

お題は当日発表か。

(横須賀商店街連合会)

はい。

(委員)

優勝すると賞品はあるか。

(横須賀商店街連合会)

支援があれば用意したい。

(委員)

審査員は誰が行うのか。

(横須賀商店街連合会)

観客。右手か左手を上げるだけ。

## (5)その他

(事務局)

若松新生商業組合の採択の結果、採択（委員6名で120点中89点）  
今後の審査会スケジュールについては、後日調整をさせていただきます。  
以上で商業振興補助事業（第4回）を終了する。